

林野庁 2023年度

治山・林道工事コンクール表彰特集

困難克服し優れた社会資本整備

林野庁による2023年度治山・林道工事コンクールにおいて、中部森林管理局所管の県内企業施工工事で林野庁長官賞3件、中部森林管理局長賞4件が受賞の栄誉に浴した。いずれの工事も国有林野の公益的機能を十分に発揮させ、森林・林業の再生の推進、その他の事業実施における施策効果を一層発現させることに寄与。施工管理や工程管理、安全対策、出来形・出来栄が秀逸であり、かつ新たな技術の導入や地域貢献など、意欲的な取り組みをみせた。さまざまな困難や制約を克服しながら、極めて優秀な社会資本を整備した受賞者の功績をたたえ、他の模範として広く周知するため特集する。



今泉局長や来賓と共に県内企業受賞者による記念写真



祝辞を述べる
今泉局長

審査対象とした工事は、2022年度に中部森林管理局管内で実施した治山工事74件、林道工事55件。これらの工事について、コスト縮減対策、技術提案、環境配慮、施工管理の4つの観点から審査を行った。県内企業では、吉澤組(駒ヶ根市)と奥田工業(大桑村)が治山部門、羽田組(長和町)が林道部門の林野庁長官賞を受賞。中部森林管理局長賞には治山部門で木下建工(佐久市)、スワテック建設(諏訪市)、大協建設(大鹿村)の3社、林道部門で宮下建設(伊那市)が選定された。

今泉裕治局長はあいさつで「受賞された皆様は公正かつ厳正な審査の結果、優秀であると認められたものであり、その成果は高く評価されるところであります。また、昨年6月の大雨により管内の林道に大きな被害が発生しました。このような状況を目の当たりにし、森林の国土保全機能の維持・向上が極めて重要であることを一層強く認識しました。林野庁としては、激甚化する気象災害等への対応として、令和3年度から7年度までの5年間で措置された『防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策』

において、森林の防災・保水機能を発揮させる治山施設の整備・強化や災害に備えた林道の整備などを進めております。これらの事業を計画的・効率的に実施するために、引き続き技術・品質の向上とコスト縮減に取り組むほか、木材を使用した工種・工法を積極的に取り入れていくこととしております。受賞者の皆様におかれましては、引き続き施工技術の研鑽と向上、コスト縮減に向けた工法の改善や開発に一層の取り組みをされるとともに、労働災害の防止に万全を期していただき、今後もより良い工事を施工され、安全で安心できる国土の構築をめざし、一層のご支援・ご協力をお願いする次第であります」と今後の活躍に期待した。



謝辞を述べる
梅田組の梅田代表

受賞者を代表して梅田組の梅田桂司代表取締役は「全国各地で自然災害が頻発しています。国民の安心安全な暮らしを確保するために、災害復旧、防災減災対策のより一層の整備促進が重要。この受賞を契機に、より一層の技術研鑽に励み地域社会に貢献していきたい」と決意を述べた。

林野庁長官賞
(治山工事の部)



森下 恭兵 麥島 和貴

現場代理人

主任技術者

【所管署】 木曽森林管理署

【工事場所】 上松町小川入国有林
52林班

【工事概要】 山腹工0.16ha

トヤノ沢復旧治山工事



【表彰理由】 現場代理人と監督職員が現地検討を重ね、支障木伐採を最小限に抑えるとともに、施工箇所が水源地に位置するため、濁水を軽減させる沈砂池の設置、湧水発生箇所への水路工の追加施工を行うなど、環境保全に十分配慮された工事でした。また、女性社員による女性の観点からの現場環境改善のための視察をするなど、女性も働きやすい作業環境改善にも取り組まれました。

奥田工業株式会社

代表取締役 奥田 和彦

〒399-5504
大桑村野尻1300-2
TEL.0264-55-2005
FAX.0264-55-2088

中部森林管理局長賞
(治山工事の部)



篠原 計

現場代理人・主任技術者

【所管署】 東信森林管理署

【工事場所】 南牧村八ヶ嶽国有林
69.70林班

【工事概要】 溪間工1基 (621.5m3)

板橋川復旧治山工事



【表彰理由】 谷止工の施工にあたり、翌々週までの工程表を作成し、工事予定を明確にして工程管理が行われました。また、工期短縮のため鉛直打継目にプレキャストコンクリート型枠を使用し、隣接するリフトとの同時打設を行うことにより工期短縮に努めるなど、施工管理に優れた工事でした。



木下建工株式会社

代表取締役 木下 修

〒384-0303
佐久市下小田切293-5
TEL.0267-82-2213
FAX.0267-82-3148